センターニュース 吹田ノ渡シ　第100号（2020年2月・3月）

吹田ノ渡シ

吹田歴史文化まちづくりセンター　浜屋敷

［所在地］〒564-0025 大阪府吹田市南高浜町 6-21　［TEL］06-4860-9731　［FAX］06-4860-9725

100号記念号！

吹田ノ渡シ
100号記念特集

2・3面
吹田ノ渡シ歴代表紙
（1号～100号）一挙掲載！

4・5面
吹田まち案内人による
旧吹田村オススメスポット

吹田ノ渡シ100号記念特集①

表紙大集合！

今月のメインカラーは初期の緑です

創刊号

創刊号
平成15年(2003年)8月1日

センターニュース
「吹田ノ渡シ」創刊

創刊30号
平成20年(2008年)6・7月号

開館5周年記念
全面カラー

創刊41号
平成22年(2010年)4・5月号

メインカラーを緑から
毎号変更

創刊50号
平成23年(2011年)10・11月号

創刊50号!!

創刊60号
平成25年(2013年)6・7月号

開館10周年記念
全面カラー

創刊79号
平成28年(2016年)8・9月号

全面カラー
4色刷りになる

創刊89号～94号
平成30年(2018年)4・5月号
～平成31年(2019年)2・3月号

開館15周年記念
15周年ロゴマーク入り

どうして吹田ノ渡シなの？

オープン前に会員向けのニュースレターで広報誌の名前を募集し、界隈の歴史に詳しい方から『吹田ノ渡シ』というタイトル案が寄せられました。神崎川の吹田の渡し跡に近く、情報を届けて人と人をつなぐ橋渡しとなる広報誌にピッタリという理由で満場一致で決まりました。誌面の顔となるロゴは浜屋敷の魅力のひとつである瓦をさかさまに配置して渡し舟に見立てて担当スタッフがデザインしました。

創刊号

1号～60号まで担当させていただきました。最初の頃はイベントも多く全員不慣れで企画が広報の締切に間に合わないことがよくあり、私はいつも担当者に怖い顔で「まだですか？」と言い、担当者は私に「ごめん、ごめん」と謝ってはたような気がします。今となっては楽しい思い出です。

上原 朋子

64号

2014年の64号から現在まで編集に携わらせていただいています。“多くの人たちに見てもらえるように”をモットーに、ホームページ上での公開(65号)や、フルカラー化(79号)などを進めてきました。おかげさまで「吹田ノ渡シを見て」というお声が少しずつ増えてきており、それが私の密かな楽しみです。

枡田 耕平

100号

吹田ノ渡シ100号を作成するにあたり、改めて「吹田ノ渡シ」という名前の由来や創刊当時の想いをお聞きしました。これまで吹田ノ渡シに携わった方々の想いをつなぎ、浜屋敷と皆さんとの橋渡しができるような誌面を作っていきたいと思います。これからも吹田ノ渡シをよろしくお願いいたします。

比屋根 瑞枝

その他たくさんの理事・スタッフが携わってくださいました！

吹田ノ渡シ100号記念特集②

浜屋敷と旧吹田村

吹田まち案内人 オススメスポット説明付き

「今号で初めて浜屋敷を知った」

「来たことはあるけど、周辺はよく知らない…」

そんな皆様に、あらためて浜屋敷の周辺を紹介していきます！

1 吹田市制発祥の地

江戸時代吹田村の領主の一人であった竹中氏の支配所があったところです。明治時代に吹田村役場・吹田町役場となり、昭和15年吹田市制施行とともに吹田市役所になりました。

2 南町道標

江戸時代の建立で、吹田の渡し跡から北に約150メートル、ここから亀岡街道と吹田街道が分岐します。

3 吹田街道(説明板)

南町道標から吹田の南部をほぼ東西に通り江坂地区を抜けて西は能勢街道につながっています。第二次世界対戦末期に疎開道路として拡幅するまでは、現在よりも道幅は狭いものでした。

4 高浜神社

素戔嗚尊を主神とする当社は、平安中期頃に牛頭天王の神輿が当地に立ち寄った際に里人が社を建て産土神として祀ったことに始まるといわれています。

5 吹田の渡し跡

かつて対岸と行き来するための渡し場があったところです。交通の要衝としてにぎわっていた様子が「摂津名所図会」に描かれています。

6 高浜神社御旅所(旧春日神社)

江戸時代にはこの地域の鎮守であったが、現在は高浜神社の御旅所になっています。このあたりは、関ヶ原の合戦後の禁制に「すいた村之内しんけん村」とあり、元和元年の村絵図には「侍内」と記載されています。

7 泪之池遊園

この公園はかつて小さな池で、血の池と言われていました。平 景清が誤って伯父の大日坊能忍を斬ってしまったことからこの池で夜な夜な泪を流していたといわれています。

8 大の木神社(泉殿宮御旅所)

泉殿宮の御旅所であるこの神社は、神崎川の旧堤防の傍らにあり、樹齢700余年のムクの大木は神崎川の舟からの目印になりました。

9 旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)

旧仙洞御料庄屋屋敷。仙洞御料とは天皇を退位した上皇（仙洞）の所領地のことでここから皇室や伊勢神宮などへ、お供え物を献上していました。

10 泉殿宮

平安時代中頃、旱魃（かんばつ）・疫病に苦しむ里人が祈願すると泉が湧き出したと伝えられています。これが神社名と「泉殿霊泉」の由来になったといわれています。

浜屋敷・・・江戸時代吹田村の旧庄屋屋敷です。吹田市が寄贈を受け、歴史と文化のまちづくりに関わる文化活動や交流の場として活用するため、改修再整備して2003年6月、吹田歴史文化まちづくりセンターとして生まれ変わりました。

浜屋敷フォトアワード 2019　結果発表！

大賞

鉄道の町、夕陽に包まれて
／栗原　正隆

優秀賞

この街の彩り　～春～
／岩城　穂乃花

ファミリー賞
トコトコフリフリ／平山　麗奈

まちづくり賞
令和元年の夜明け／常藤　光一

浜屋敷賞
ほっとひと息／藤澤　博子

入選
姉妹で／下中　絵里加
おばあちゃんと一緒／竹原　友博
森のささやき／奥備　憲一
桜日和／佐々木　秀重
浜屋敷としだれ梅／馬野　明子
水たまり／奥備　美代子
秋色／平木　吉彦
信号待ち／床島　央明
森に涼あり／平野　史孝
竹あかり／矢延　直樹
（敬称略）

2/24(月)～3/5(木)　10:00～20:00（最終日は 17:00 まで）

浜屋敷フォトアワード 2019
入賞作品展

昨年の作品展の様子

ご自由にご覧ください。

2/11(火・祝)　14:00 ～ 16:00　歴史

すいた昔さろん　すぺしゃる

外国人が見た日本と吹田

サンポーニャ（竹の笛楽器）や
チャランゴ（ウクレレに似た弦楽器）などの
民族楽器の演奏もあります。

講師：オチャンテ・カルロス（奈良学園大学 人間教育学部 講師）

定員　先着 50 名　　費用　100 円
申し込み　2 月 1 日（土）から電話で浜屋敷へ

2/22(土)　13:00 ～ 15:00（受付は 14:00 まで）　文化

ぽかぽかひろば
ふうせんであそぼう！

バルーンフェスティバル！
ふうせんをつかってたくさん遊びましょう♪

定員　当日先着 50 名　費用　100 円（おやつ代）
対象　おおむね3歳～小学3年生（小学生未満は保護者同伴）
持ちもの　お茶・えがお　　申し込み　不要

3/1(日)　11:00 ～ 11:40　文化

ひなまつり

申込不要　入場無料

おはなしや影絵を
お楽しみください♪

当日先着 60 名

【出演】
吹田おはなしの会

終了後
ひなあられを
配ります

小学生以下限定
先着 80 名

2/20（木）～ 3/3（火）ひな飾りを展示しています♪

3/7(土)　14:00 ～ 16:00　文化

浜屋敷 狂言
傀儡（くぐつ）と狂言で魅せるひととき
～傀儡師と狂言師が魅せる伝統の技～

狂言「因幡堂」　コラボ狂言「清水」

トーク「女殺油地獄 / 与平の人形を使ってしぐさや表現の技を比較検証」
レクチャー「狂言面について」

出演：大和座狂言事務所（やまとざきょうげんじむしょ）・人形劇団クラルテ

費用　一般 1,000 円　賛助会員 800 円　正会員 600 円
中学生以下 800 円　※未就学児の入場はご遠慮ください
定員　先着 80 名　　申し込み　2 月 1 日（土）から電話で浜屋敷へ

3/12(木)　14:00 ～ 15:30　文化

土間談議

まちの駅ボランティアがファシリテーター（進行役）となり
浜屋敷の土間でいろいろなテーマに沿って話しましょう。

第 5 回目のテーマは…

遠くなった昭和

申込不要　費用無料

お気軽にご参加ください。

3/19(木)　14:00 ～ 16:00　歴史

すいた昔さろん
～蔵の中で昔の話を～

民家集落万華鏡

民家集落の見かたいろいろ。

講師：中野（なかの） 直衛（なおえ）（日本民家集落博物館 ボランティア）

定員　先着 25 名　　費用　100 円
申し込み　3 月 1 日（日）から電話で浜屋敷へ

3/19(木)　18:30 ～ 20:30　文化

まちづくり講演会

まちづくり道場へ、ようこそ
- 吹田たんけん・はっけん・ほっとけん -

「いろんな役割があって、どんな人でも輝ける場所がある」
それがラグビーの魅力といいます。そんな吹田のまちづくり
はいかがですか。※講演の後、簡単な交流会があります。

講師：片寄（かたよせ） 俊秀（としひで）（NPO ほんまちラボまちづくり道場 主宰）

定員　先着 40 名　　費用　200 円（茶菓代）
申し込み　3 月 1 日（日）から電話で浜屋敷へ

2020 年度 公募事業について

今年度、募集しておりました浜屋敷事業企画公募「あなたが輝く、あなたで輝く浜屋敷」は審査の結果「採用無し」となりました。
来年度も募集を予定しておりますので、皆様からのご応募お待ちしております。

---

4 月 4 日（土）さくらまつり開催！　詳細は次号でお知らせします

吹田まち案内人

雨天決行
全員参加できます。

吹田まち案内人のガイドで
元気に楽しく、まち歩きしましょう！

実施日	コース名	内　容	集合・解散			参加費	申込締切
2/8（土）	続・古道たずね歩き⑪ 亀岡街道（茨木編）	馬塚を見て、西国街道を横切り、福井集落を通ります。※一日コース　※健脚向き　※昼食持参　約 9 km	集合	9:30	モノレール宇野辺駅	500 円	2/4（火）
			解散	15:00 頃	茨木市馬場バス停		
2/22（土）	千里ニュータウン 吹田・豊中を歩く	吹田市の青山台・古江台、豊中市の新千里東町・新千里西町を歩きます。吹田と豊中の千里ニュータウンの違いを見て歩きます。約 6.5 km	集合	9:30	阪急北千里駅	300 円	2/18（火）
			解散	12:30 頃	千里中央駅		
3/29（日）	豊中台地の桜塚古墳群を目指して歩く	豊中台地の中期古墳群や本殿が重要文化財である原田神社などを巡りながら能勢街道を歩きます。約 5.7 km	集合	9:00	北大阪急行緑地公園駅 西側広場	300 円	3/25（水）
			解散	正午頃	阪急宝塚線岡町駅		
3/31（火）	四神公園と 高松塚古墳展示室	青龍・朱雀・白虎・玄武を配置した公園と関大高松塚古墳の四神壁画を巡ります。約 4.5 km	集合	9:30	阪急千里山駅	300 円	3/27（金）
			解散	12:30 頃	関大博物館前		

お申込み（参加費は当日集合時にお支払いください。）
はがき・FAX に ①コース名 ②代表者氏名 ③電話番号 ④参加人数 を記入して下記の宛先までお送りください。
［宛先］〒564-0025 大阪府吹田市南高浜町 6-21｜FAX 番号：06-4860-9725 ※申し込み後こちらからの返信はありません。

<はがき・FAX>
①コース名
②代表者氏名
③電話番号
④参加人数

メールニュース会員募集中！
吹田まち案内人の情報を毎月配信しています！ご希望の方は
suita-guide@hamayashiki.com に ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④生年月日 を入力してお申込みください。

吹田のええトコ案内するで～!!

◆ 2月 3月のイベントカレンダー ◆

	実施日	イベント名
★	2/11 (火)	すいた昔さろん
★	2/14 (金)・15 (土)	忍熊王の土まんじゅう
	2/22 (土)	ぽかぽかひろば
★	2/24 (月)	朗読エンターテイメント
	2/24 (月)～3/5 (木)	フォトアワード2019入賞作品展
★	3/1 (日)	ひなまつり
★	3/7 (土)	浜屋敷狂言
	3/12 (木)	土間談議
★	3/19 (木)	すいた昔さろん
★	3/19 (木)	まちづくり講演会
★	3/28 (土)・29 (日)	Plant M + takayasu kagura「祭礼2020」

★……要予約

※イベントの前日と当日は施設の一部が見学できないことがあります。

● 催しの内容は変更することがあります ●

お申し込み・お問い合わせ
（お申し込みは午前 9 時から午後 9 時まで）

浜屋敷　06-4860-9731

吹田歴史文化まちづくり協会会員様には催しによって参加費の割引があります。詳細は浜屋敷までお問い合わせください。

2019 年度 休館日　4/22（月）・6/17（月）・8/19（月）・10/21（月）・12/16（月）・12/29（日）～ 1/3（金）・**2/17（月）**

浜屋敷 手づくり市

2020年度 ＜春＞ 出店者募集!!

あなたの思いのこもった作品を浜屋敷でお披露目してみませんか？

【開催日時】 2020年5月16日(土)10:00～15:00　雨天決行

【出 店 料】 ※会員割引有
【お庭】Aブース/2,000円　Bブース/2,500円 (ワークショップに利用できます)
【和室】(一畳)/1,500円　(二畳)/2,500円

【出店資格】 手づくり作品に限る。(食品不可)

【申込期限】 3/1(日)～3/19(木)消印有効　多数抽選

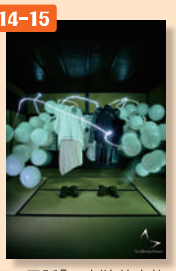
【貸出備品】 イス・テーブル(有料)必要な方はお申し込みください。

お申し込みは申込用紙を記入し、郵送、FAX、メール、またはご持参ください。
申込用紙はホームページからダウンロードいただくか、または浜屋敷事務局まで。
【宛先】 大阪府吹田市南高浜町6-21 浜屋敷「手づくり市出店」係まで

メイシアター in 浜屋敷

第177回吹田市民劇場 <普及啓発事業>

2/14-15 忍熊王の土まんじゅう



吹田の民話「五十狭茅宿祢」を題材にした演劇公演。映像とテクノロジーと俳優のコラボレーションで上演。

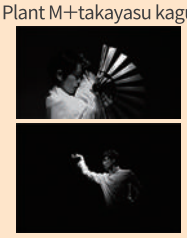
【映像・作・演出】
赤星 マサノリ
【出 演】
堂床 真奈美 / 坪坂 和則
【入場料】
2,000円

2/24 ナニワのアナウンサー寺谷一紀の朗読エンターテイメント

いつもとちょっと違う場所で吹田や北摂の民話を魅力いっぱいでお届けします。

【演 目】
摂津國　昔話紀行
「茨木童子」「天満のとらやん」ほか
【出 演】
寺谷 一紀 / 古川 亜樹(ゲスト)
【入場料】
500円

3/28-29 Plant M+takayasu kagura 祭礼2020



・解説と体験「神楽(かぐら)」
・上演「祭礼2020」

【構成・演出】
樋口 ミユ
【出 演】
髙安 美帆 / 岸本 昌也
【入場料】
2,000円

チケットに関するお問い合わせはメイシアター☎06-6386-6333まで
主催　吹田市／(公財)吹田市文化振興事業団　平日 9:00～17:30

こんなこと ありました。

冬を感じるには浜屋敷

門松（写真上）
柚子（写真右）

毎年恒例の干し柿の販売や、今年は冬至の頃に柚子を土間で販売しました。
浜屋敷では火鉢や門松がある他、もちつきや七草粥のふるまい、ライトアップなど冬を感じられる行事がたくさんあります。
家から出るのが億劫な季節ですが、ぜひ冬を感じに来てみてください。喫茶のコーヒーも普段より少し、おいしく感じられるかもしれませんよ。

2020年度 新規 会員募集中

会員特典

①オリジナルグッズプレゼント（新規正会員様限定）
②センターニュースを毎号ご自宅までお届けします！
③様々なイベントの割引があります！（全てではありません）

入会方法

【入会申込書】必要事項をご記入の上、浜屋敷まで。郵送・FAXも可。
（入会申込書は、事務局かホームページよりダウンロードできます）
【年会費】直接お支払いいただくか、郵便振替をご利用ください。
個人正会員3,000円　個人賛助会員1,000円　法人賛助会員10,000円
【口座番号】00940-5-188860
【口座名義】特非)吹田歴史文化まちづくり協会
【有効期間】2020年4月1日から2021年3月31日まで

第28回 吹田の歴史探訪 加賀文庫

加賀 眞砂子

「吹田ノ渡シ」は浜屋敷と支援してくださる皆様方を結ぶ機関誌として刊行され、今回で100号となります。浜屋敷が地域のコミュニケーション・憩いの場として成長してきたのはひとえにご支援くださる皆様方のお陰と心より御礼申し上げます。
ニューヨークの公共図書館では、カフェや子供の遊び場・生涯学習スペースなどを併設し「知の宝庫」として多くの人々が憩い出会い、つながる場として開かれているそうです。
吹田の歴史が詰まった加賀文庫をご活用いただき、建国以来常に日本の歴史を彩ってきた吹田の歩みを話し合う場にしていただきたいと思います。

（写真）開館の様子

加賀文庫開館しています。
毎月第2、4土曜日13:30～16:30に開館している文庫。
場 所：浜屋敷[多目的室] ※8月・12月第4土曜は休館します。

浜屋敷
吹田歴史文化まちづくりセンター

開館時間 午前9:00～午後10:00
※お申込みは午後9:00まで

休館日 12月29日～1月3日
(施設点検のための臨時休館日があります)

観　覧 無料

貸　室 有料 (要申込み)

最寄り駅 阪急京都線　相川駅徒歩10分
JR東海道線　吹田駅徒歩15分

管理運営 特定非営利活動法人
吹田歴史文化まちづくり協会

電話 (電話) 06-4860-9731 / (FAX) 06-4860-9725
メール info@hamayashiki.com
HP http://hamayashiki.com/
ブログ http://hamayashiki.com/blog/
@hamayashiki2　@hamayashiki

イベント、貸室、見学情報は… 浜屋敷 検索

吹田ノ渡シ 100号（2020年2月1日発行）
この広報誌は5,000部作成し1部あたりの単価は約12円です。
【差出人・返還先】
特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会
〒564-0025　大阪府吹田市南高浜町6-21